

支給申請の
負担軽減

高額療養費における毎回の 払い戻し手続きが不要に!!

Point!

- ✓ 69歳以下の被保険者を含む世帯は、療養費が高額となり一定の金額を超えた場合、その超えた金額の払い戻しを受けるために、毎回、申請が必要だった。
- ✓ 申請に係る「書類の作成」や「来庁すること」が負担となっていた。
- ✓ 1度、簡素化の手続きを行うことで、毎回の申請が不要となった。

地域の 課題

お金が戻ってくるから
申請するけど、毎回申
請しに行くのが負担...

自治体の 提案

支給対象となるか
は自治体で判断で
きるから、1度の
申請で済むように
提案してみよう!

提案の 成果

役所に行くのは
簡素化手続きの1回のみ

毎回、書類を作成したり、
自治体に行って手続きし
たりと負担が大きかった
が、1度、口座情報等を
申請するだけで毎回の手
続きがなくなり、負担が
なくなった。

提案の成果

簡素化の申請をすること
により、毎回手続きする
必要がなくなり、申請書
の作成や来庁する負担が
軽減された。

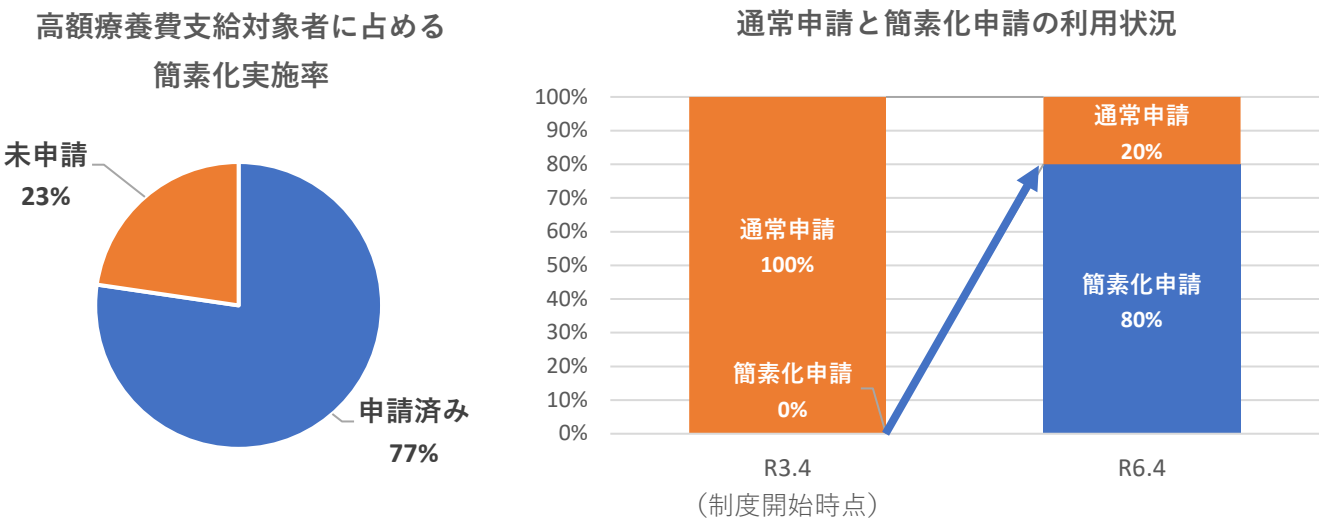
住民の負担軽減

提案実現後の状況

提案団体での活用状況

砥部町では、高額療養費制度の支給対象となった被保険者のうち**77%**が簡素化の申請を行っている。また、ひと月の申請区分の内訳では、支給対象者のうち**80%**が簡素化の申請を行っており、多くの被保険者が制度を利用している。

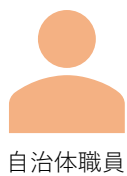
この提案をきっかけに、高額療養費の支給対象となった場合における毎回の申請手続きがなくなり、国民健康保険加入者の手続きに係る負担が大きく軽減され、手続き漏れ防止にも寄与している。



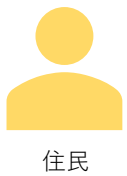
< 提案団体 >

砥部町、松山市、宇和島市、八幡浜市、大洲市、松前町、内子町、伊方町、松野町、愛南町

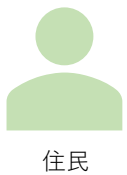
関係者の声



勧奨通知の作成件数が減ったことで、通知発送に係る作業が少なくなり事務処理の負担が軽減された。また、それまで手入力で支給決定していた処理を機械化でき業務が効率化したため、他の業務に注力できるようになった。



毎月、申請書と領収書を突合し、申請のために役場までいく負担が解消されたので非常に助かっている。



平日の日中に窓口に行く時間がなかなか取れなく、申請を忘れることもあったので、自動で振り込んでもらえるのはありがたい。